

日本「祈りと救いところ」学会 第5回学術研究大会「祈りの原点・山陰」タイムテーブル

平成30年10月6日(土) 於：鳥取看護大学

	メイン会場： シグナスホール 大講義室	講師控室： 看護大学棟 1F会議室	一般演題会場： 看護大学棟2F K203教室
8:30	総合受付開始(8:30～)	理事会 (8:30～)	
9:25	開会式 挨拶：榎本稔(榎本クリニック)		
9:30	大会長講演(9:30～10:00) テーマ：看護と祈り 講師：安田美彌子(鳥取看護大学) 座長：張賢徳(帝京大学)		
10:00	教育講演(10:10～11:10) テーマ：山陰の祈りの原点—古事記外伝イズモクロニクル 講師：多羅尾整治(古代出雲王国研究会・作家) 座長：荒井優(鳥取看護大学)		
11:10	特別講演(11:20～12:20) テーマ：看護教育における祈り 講師：近田敬子(鳥取看護大学) 座長：田中響(鳥取看護大学)		一般演題①(11:20～12:20) 11:20- 田中浩司(防衛大学校) 「アメリカ文学に見るグリーフケア —エドガー・アラン・ポーとゴシック・スタイル」 11:32- 土居裕美子(鳥取看護大学) 『『醒睡笑』に描かれる生と死』 11:44- 荒井優(鳥取看護大学) 「宗教体験についての試論 —ウイリアム・ジェームズの回心論にもとづいて」 11:56- 河村一樹(渡辺病院) 「焦燥感の強い健忘症状のあるアルコール依存症患者への 関わりの視点」 12:08- 林開(飯田橋榎本クリニック)、他 「AAの『12のステップ』とキリスト教信仰の比較検討② —第4ステップ以降」 座長：荒川満枝(鳥取看護大学)
12:20	総会(12:20～)		
13:00	歓迎の辞 挨拶：山田修平(学校法人藤田学院)		
13:05	基調講演(13:05～14:05) テーマ：日本人の死生観—喪失と望郷の心情から 講師：島園進(上智大学グリーフケア研究所) 座長：安田美彌子(鳥取看護大学)		一般演題②(13:20～14:20) 13:20- 永見純子(鳥取看護大学) 「看護と祈りに関する文献検討」 13:32- 平野裕美(鳥取看護大学) 「看護師を対象としたレジリエンスに関する研究動向」 13:44- 前田陽子(鳥取看護大学) 「日本の看護研究における『共感』『共感疲労』についての検討」 13:56- 藤原美智子(鳥取看護大学)、他 「アートDVの予防教育の現状と課題に関する文献レビュー」 14:08- 丸山昭子(松蔭大学)、他 「在日ブラジル人の抱える諸問題 —グローバル社会における共生を模索して」 座長：篠原百合子(千葉科学大学)
14:05	メインシンポジウム(14:15～16:15) テーマ：看護と祈り—看取る力、寄り添う力を育む シンポジスト：①玉置妙憂(榎本クリニック) 「慈悲の瞑想でまずは自分のコップを満たしましょう」 ②足立誠司(鳥取市立病院) 「臨床医の立場から考える」 ③宮本優子(ケアプランセンターわたなべ) 「最期までその人らしく生きるために」 ④渡邊太(鳥取短期大学) 「近代化と民俗宗教の営み」 座長：小村三千代(鳥取看護大学) 座長：渡辺憲(渡辺病院)		一般演題③(14:15～15:30) 14:15- 藤井麻帆(鳥取看護大学) 「地域包括ケアシステムにおける 終末期の家族介護に関する研究の動向」 14:27- 長尾美香(藤井政雄記念病院) 「家族の意思決定を支える—高齢者ケアの 意思決定プロセスに関するガイドラインを活用して」 14:39- 池田牧(鳥取県立中央病院 がん相談支援センター) 「がんの診断前に死期を悟る患者が求めるものは何か」 14:51- 高田美子(鳥取看護大学)、他 「高齢者の在宅介護における主たる長期介護者への支援 —ロールレタリングを試みて」 15:03- 篠原百合子(千葉科学大学)、他 「在宅看護における家族支援」 15:15- 久保正子(共立女子大学) 「遠伝子医療の発展が私たちのところに及ぼす影響」 座長：林開(飯田橋榎本クリニック)
16:15	公開講座(16:25～17:55) ※参加費無料 テーマ：芸術と祈り—創作活動の現場から 講師：山本眞輔(日本芸術院・彫刻家) 座長：榎本稔(榎本クリニック)		
17:55			
18:30			↓スクールバスにて移動
20:30			懇親会@ホテルセントパレス倉吉 (18:30～20:30)